

ボランティアセンターだより

2022.11 霜月 109号

支えられたり 支えたり

編集・発行 泉南市ボランティアセンター 泉南市ボランティア連絡協議会
泉南市樽井一丁目8番47号 TEL 072(483)0294
泉南市総合福祉センター(あいびあ泉南)3階 sennanshi-vc@sennan-shakyo.or.jp

夏休み子どもの居場所 「niccot(にこっと)」



手作りのハロウィンのお面とマントをつけて



誘拐被害にあわないために

2021年度から社会福祉協議会が開催している「みんなの居場所づくりniccot」が、夏休みに子どもを対象として実施されました。この企画には「子ども食堂 ティールームゆり」「紙芝居ボランティア 拍子木」「ボランティア体験プログラム参加者」も協力しました。

6月中旬から募集すると、すぐに定員15名に達し、小学生の保護者の関心の高さが伺えました。ボランティア体験プログラム参加者も、

中・高・専門・大学生・おとな合計33名の申込みがありました。

コロナ禍ということもあり、参加者・ボランティア共に急な欠席もありましたが、参加できた子どもたちには楽しい思い出になったことでしょう。



今日のメニューは「ハンバーグ2種」



はやく走ることをイメージして



タイトル「ネコのおてがみ」



ボランティア研修会報告

10月4日(火)、コロナ禍で中止されていたボランティア研修会が3年ぶりに実施されました。

これまで、福祉・防災・環境をテーマに行き先を決めていましたが、今回の見学先は今年4月にオープンした「堺市総合防災センター」です。

「大災害は必ず起こる」を前提に、震度7の地震、消火器での消火、煙・暗闇避難、模擬心臓を使った胸骨圧迫(心肺蘇生)を、全員が体験しました。

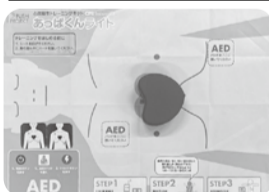
阪神・淡路大震災での倒壊家屋からの救助は、ほとんどが家族や近所の住民によるもので、災害時は自助・共助が大切と学びました。

災害は他人事ではありません。「自分自身と大切な人を守る為に、今、災害時に備えた行動が必要」というスタッフの言葉が心に残ります。

午後は、1970年の大阪万博でシンボルとなった「太陽の塔」の見学。近づくにつれて汚れが見え、我々と同じく親近感が湧きました。一方、再生された内部には脈々と「生命の樹」が息づいていました。1本の樹体に単細胞生物からクロマニヨン人まで、33種のいきものが張り付く独創的な造形物は、まさに岡本太郎の世界でした。

プログラム

	7月26日(火)	8月2日(火)	8月9日(火)	8月16日(火)	8月23日(火)
午前	いろんな形の紙飛行機を作ろう	宿題をしよう①	宿題をしよう②	大阪府警による子ども向け防犯教室	宿題をしよう③ ハロウィンの面作り
昼食 子ども食堂 (100円)	ポークカレー サラダ	そうめん・からあげ 人参サラダ	焼きそば いわしのマリネ	豚丼 みそ汁	ハンバーグ サラダ・パスタ
昼休み	大型紙芝居を見る				
午後	広い部屋で飛ばしてみよう	身体のプロが教える走り方	牛乳パックで貯金箱を作ろう	カードゲーム ボードゲーム	カードゲーム ボードゲーム



ピンク色のハート型の模擬心臓をピピッと鳴るまで力いっぱい押す

実際に燃えている炎に向かって水をかける



ボランティアサロン

「お正月のフラワーアレンジメント」

日時 12月23日(金) 13:30~15:30
 場所 泉南市総合福祉センター(あいびあ泉南)3階ボランティアセンター
 講師 嘉戸 幸子さん
 定員 15名(申込み順)
 参加費 1,500円(材料費)
 持ち物 はさみ・ハンドタオル・持ち帰り用の袋
 受付 12月1日(木)~15日(木)
 ※新型コロナウイルス感染拡大状況により中止になる場合があります。

オアシス・花器は用意します

申込み・問合せ
 泉南市ボランティアセンター
 TEL 483-0294 (平日10時~16時)
 泉南市社会福祉協議会
 TEL 482-1027 FAX 482-1618

編集の窓

十年前に地区福祉委員の間から、駅前清掃ボランティアのお誘いがあり、参加することにしました。

六月と十一月に駅前ロータリーに花を植え、水やりと草抜きの手入れをします。

今年は、六月の植替え時に親子四組の応援ボランティアさんに参加いただき、楽しく植えることができました。

月一回の活動中には通りがかりの方が、「いつもきれいにしてくれてありがとうね」「ご苦労さん」などのねぎらいの言葉をかけてくれます。

メンバーも高齢になり、病气や痛い箇所の話ばかりになります。みんな頑張っています。

花の好きな方、一緒にいかがですか。

辻 二美代

